

猪名川町北部地域医療のあり方検討委員会委員意見（議事要旨）

令和5年6月5日開催

番号	発言者	意見内容
1	A委員	<p>高度医療は都市部で対応するものと考えているが、杉生診療所は、近隣の医療機関として薬の処方、話を聞くなど高齢者にはありがたい存在である。</p> <p>自宅でのタブレット利用などを検討し、患者数が減少し、採算が合わないから医療所提供ができないのではなく、北部地区の医療体制は、一般に言われる島の離島のようなもので、投資としての提言にしていただきたい。</p>
2	B委員	<p>10年間の経営チェックをし、赤字が増え続けていたが、それでも地域に必要な医療として続けてきた。</p> <p>今井病院へ受診されていた方の状況もあり、せいふうクリニックとして今井病院の外来の場所で引き継ごうと考えた。検査機器も継続使用できるように整備して、これまで杉生診療所ではできなかった検査もできるようにして医療を引き継ぐことにした。</p> <p>経営的に赤字状態であれば、杉生診療所の医療機器の更新は困難であり、老朽化した医療機器では検査等が行えない場合がある。</p> <p>また、医師の確保も困難であり、現状の医師も高齢化しており、医療提供体制が変容するならば交通手段である「足」の確保が課題になってくる。</p> <p>地域医療となると、訪問診療が必要だと考えていたが、きちんと実施できる体制をとっていたものの、実際にはそれほどニーズがなかったため、充分にはできていない。</p>
3	A委員	<p>大島地区の患者は、大阪府能勢町の医療機関を受診するなどしている。</p> <p>また、町南部でも訪問診療を実施している医療機関もあり、町北部も対象にしているように思う。</p>
4	C委員	<p>交通の便の課題について、杉生診療所からせいふうクリニックまで患者の送迎をしているとのことだが、どのような内容か？</p>
5	事務局	<p>せいふうクリニックが令和5年5月1日から開設されており、実際の送迎は5月15日からだが、2回の杉生診療所送迎を含む、送りが26名、迎えが32名の利用となっている。</p> <p>費用は、医療機関の負担として、無料で送迎を実施している。</p>
6	D委員	<p>事務局の資料及び説明で、人口が減少傾向にあるのは理解できるが、医療機関が無くなれば、人口が減少する地域では、自動車に乗れなくなったら医療機関にも行けないし、生活ができなくなる。</p> <p>歩いて行けるところに、医療機関があってほしいというのは、切実な願いである。</p>
7	E委員	<p>医療機関があれば、地域に希望があり、地域住民の力になるのではないかと思う。</p>
8	事務局	<p>町としては、人口減少に伴う様々なサービスの低下は認識しており、さまざまな部所で検討を行っている。</p> <p>地域住民の方から、いろいろな意見をいただき、さまざまな施策を通じてサービス低下をなるべく抑制したく考えている。</p>

猪名川町北部地域医療のあり方検討委員会委員意見（議事要旨）

令和5年6月5日開催

番号	発言者	意見内容
9	事務局	オンライン診療、送迎体制確保のうえ、せいふうクリニックを中心とした医療体制へのシフトなど、今回の意見をもとに整理し、次回お諮りしたい。
10	C委員	次回は、課題に対しての各論的なこと、対策を考えていかないといけない。限られた期限内に答申を出さないといけないので、きっちりと進めていきたいと考えている。
11	F委員	課題整理でいろいろな意見が出たが、次回の第2回目までに新たな課題を委員それぞれが洗い出したうえで、次回の会議に臨みたい。